

平成28年主要港督励巡視

結果報告（船内班）

報告者： 督励巡視団員

廣田弥八

◎ 冒頭挨拶

厚生労働省労働基準局安全課大村専門官

- ・ 落下事故を踏まえて安全ベルトの完全着装
- ・ 作業計画の作成(大型作業機械と人との接触)
- ・ ストラドルキャリア(死亡事故が過去に発生)の作業時における立入禁止区域の設定
- ・ 熱中症対策に関わる各設備

以上を重点においたパトロールを実施して頂きたい。

< 今回の日程 >

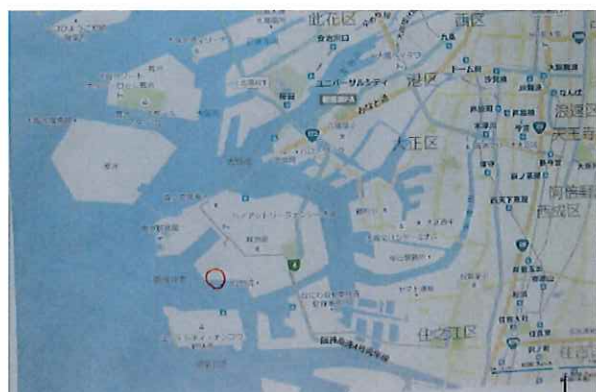
(1) 7月26日（火） 東京都・東京港



(2) 7月27日（水） 静岡県・清水港



(3) 7月28日（木） 大阪府・大阪港



(4) 7月29日 (金)

福岡県・門司港



《第1日目》

☆ 7月26日 (火)

(曇)

『東京港』

青海コンテナ埠頭 第2号(A-2)

コンテナ船 : 本船名 JIN JIAN(錦江ライン)
MILD CHORUS

コンテナ揚積 : 2基荷役
作業会社名 : 横浜港湾作業

発表者 : 中国総支部 光田浩志
書記 : 日本海総支部 西川健治



<高評価>

- ・ 服装の乱れなく救命具も装着されていた。



- ・ 本船のトイレやタリールームを休憩所として使用出来る様にしている。
- ・ デッキ通路上(右舷～左舷へ)に親綱が張られていて安全帯を掛けられるようにしていた。
- ・ 熱中症対策として、タブレットや飲料水が準備されていた。
- ・ 合図者やハスラー運転手の指差呼称が徹底されていた。



- ・無線を使用し、合図者やクレーン運転手及びクレーン下との連携がとれていた。
- ・クレーン下の退避位置がカラーコーンで区画してあり良好であった。



- ・ガントリークレーン同士の衝突防止用として（3mのサヤ付センサー）が設置されていた。



<指摘事項 及び 改善事項>

- ・特にありませんでした。

<質問事項>

質問： ガントリークレーン下でのプラン確認台等、現場からの意見を事務管理側へどのようにフィードバックされているのですか？

回答： 月一回の安全会議でコンテナのチェック（消し込み）ミスが発生した際の対策です。



質問： 熱中症対策として現場作業員にはどのような教育をしているのですか？（緊急対応など）

回答： 年数回 ある救命救護講習を順次受けさせています。
緊急対応などの手順、ポスターを各部署に貼っています。

質問： 本船に掲示されている作業主任者は1名記載されているが、ギャングごとには記載されないのですか？

回答： 現在の記入(1名)は総括なので各ギャングごとに表示します。

《第2日目》

☆ 7月27日 (水)

(雨／曇)

『清水港』

富士見 1/2号岸壁

本船名 : えびす丸

H鋼 166 t 揚

発表者 : 東北総支部 藺部洋克

書記 : 四国総支部 坂本博彦



<高評価>

- ・ 指差呼称の実施、服装や腕章の装着状況も良好でした。



- ・ ウォークラダーに転落防止用ネットが実施されている。



- ・ 雨具を着用していたが、フードをせず、きちんと視界を確保していた。



- ・ 合図者やクレーンオペレーター及び、艙内の玉掛け責任者が無線を使用して明確に合図を行っていた。



- ・ 玉外し時に、吊り具ハッカーをロープでまとめて外す等、安全対策を行っていた。良好です。



- ・ 玄門表示に作業責任者の写真も添付しており、また、取替えられるように工夫されていた。



<指摘事項 及び 改善事項>

- ・ 本船内において作業員がH鋼の上に乗りながら、玉掛けを行っていた。
 - ・ 吊り荷の上でワイヤー掛けをしないように指導します。又、吊り荷と他の貨物との間に入らない事も徹底します。

<質問事項>

質問： 船艙内開口部における転落防止は行われるのでしょうか？

回答： 鋼材を平坦に取って行こうと考えています。

- ・ 静岡労働局安全課長(赤池氏)
今後の対策(課題)として問題提起します。



質問： ワイヤロープの整備基準について見える化を行っていますか？

回答： 専属の道具班が整備及び確認(記録)を行い、道具や資材の使用方法も指導しています。



質問： 各港まだまだ、統一されてませんが、フォークリフトのシートベルトの装着に関して何か取り組みを行っていますか？

回答： シートベルトのあるものは装着するように指導している所です。

- ☆ 富士見1, 2号岸壁巡視終了後、雨の為
富士見7号 八栄丸(積) 菜種粕(肥料) 1,200 t / 1 ギャングがキャンセルとなり
時間に余裕があったのでフェルケール博物館(一般財団法人 清水港湾博物館)を約1時間見学。

《第3日目》

☆ 7月28日 (木)

(晴れ)

『大阪港』

咲洲

L-7バース

元請会社名 : 月星海運(株)
荷役会社名 : 藤原運輸(株)
本船名 : YUSHO APRICOT
作業内容 : 1番ハッチで
舳からコイル積込作業

発表者 : 東海総支部 鈴木克明
書記 : 東京総支部 芳賀勇



<高評価>

- ・ 本船デッキの危険箇所に警戒テープの設置 (立ち入禁止及び通路設定) 良好です。



- ・ 合図者のヘルメットが色別されており、作業体制が分かりやすかった。(指揮命令系統)



- ・ 熱中症対策として、温度計を設置。
時間ごとにチェックし明記されていた。



- ・ 熱中症対策キット及びWBGT計測器を使用していた



<指摘事項 及び 改善事項>

- ・ 本船、船尾側エプロンに資材等が放置されており、
整理整頓が不十分であった。
 - ・ 作業中だった為に整理できなかった「5S」を指導していきます。

<質問事項>

質問: WBGT 28~31°Cの警戒装置が鳴っていたが、具体的な対応をしていますか?

回答: 鳴っている時は小まめに休憩を取るようになっています。(気温の確認)

- ・ 大阪労働局安全課長(安部彰氏)

昨年2名の熱中症を出していますが、作業会社が入り混じっているため、各会社間の連絡や調整を取ってほしい。



質問: 本船の段取時のため荷を吊っていなかったが、デッキ上でクレーンが待機していた。どのような作業手順を作成されていますか?

回答: 8年前に事故があり、その際の作業手順として艙内の合図がなければ積込まずに適切な場所で待機する事としています。



質問: フックの外れ止めが壊れていたが、本船への報告はされていますか?

回答: 本船には始業前に報告しているが、手直しはされていなかった。今後も本船が手直しをしないのなら、作業会社の方で対処していきます。

《第4日目》

☆ 7月29日 (金)

(晴れ)

『門司港』

太刀浦 34W岸壁

本船名 : SKY BEAUTY
作業会社名 : 門菱港運(株)
作業内容 : 2番ハッチで内航船より
機械、ケース類積み

発表者 : 千葉総支部 梅原誠
書記 : 沖縄総支部 島袋広安



<高評価>

- ・ デッキ上での合図者の声出し、声掛けが明確で良かった。



- ・ KYボードがきちんと記入され設置していた。



- ・ 中甲板の開口部に転落防止用ロープが設置されていた。



- ・ 岸壁に置かれた資材類が整理されていた



<指摘事項 及び 改善事項>

- ・ デッキマンの安全帯の位置が腰より下部にあり、安全とは思えなかったのですが。
 - ・ 注意是正・腰より高い位置での使用を心掛けます。
- ・ 作業着の袖まくりやヘルメットのあご紐の緩い人が見受けられた。
 - ・ 注意是正・あご紐のゆるみ及び服装の点検を行います。

<質問事項>

質問: フックの外れ止めが壊れていた。
本船への報告はされていますか？

回答: 船会社(代理店)に連絡を取って
対処していきます。

質問： 船内の高所貨物(ケース類)への昇り降りはどのようにしていますか？

回答： はしごを使用します。(常備します。)

質問： 各昇降口における転落防止は何かありますか？

回答： セーフティーブロックを使用するなど、推進委員会で検討します。

質問： 危険箇所の見える化を考えていますか？

回答： 本船デッキ上や通路などの突起物に警戒テープを巻くなど推進委員会で検討します。

☆ 巡視終了後、
太刀浦第1コンテナターミナル第1CY展望台を見学



以上で、今回の主要港督励巡視団(船内班)の報告を終わります。

最後に、

7月26日(火)の結団式において、笹田団長より

「凡事徹底を心掛けてもらいたい。」との激励のお言葉がございました。

これは、兵庫県総支部長・佐伯邦治氏の名言を引用されたものですが、

この「凡事徹底」を説話の中で折に触れ活用されていました。

今後、各団員は現場でこの文言を展開させていくものと確信しております。

今回督励巡視団に参加させて頂き誠にありがとうございました。

兵庫県総支部

船内班

廣田 弥八

